

ソマリアに関するイスタンブール会合
山根外務副大臣ステートメント
2012年6月1日（金） 於：イスタンブール

議長、
ご列席の皆様、

ソマリア情勢が好転する中、過去20年ではじめて訪れた国家統一の気運の高まりを捉えてこの会合を主催するトルコ政府のイニシアティブを評価し、敬意を表します。また、各グループを代表する多くのソマリア人が今回の会合に参加していることは、ソマリアのオーナーシップを示すものとして評価します。

（暫定期間終了に向けた政治プロセスの進展）

ソマリアの指導者は、ソマリア国民のために、暫定期間が終了する8月20日までに、新憲法を成立させ、新議会を招集し、新大統領及び議会議長を選出し、新政府を樹立する必要があります。期日まで3か月を切った現在、ソマリアの全当事者が、協調の精神をもって、政治プロセスの推進に一層取り組むことを求めます。

（TFGに対する支援）

我が国は、ソマリランド、プントランド、TFG問わず、ソマリア国民の将来のために共に取り組む意思のあるすべてのパートナーと協力して、新生ソマリアの国造りに貢献してまいります。

我が国が2月のロンドン会合で表明した4500万ドルの支援は、全て拠出済みであり、着実に実施されています。特に我が国は、国連事務総長報告において言及されているとおり、TFG警察官への給与支払や装備・車輛の配備等の包括的な治安改善に向けた警察支援を継続中です。5月7日には、モガディシュで車輛の供与式が行われました。

また、トルコ政府が、今回の会合のテーマの一つとして「ソマリアの投資と開発」を設定されたことは、ソマリアの将来を見据えた、時宜を得たものであると評価します。TICADプロセスを通じてアフリカ開発をリードしてきた我が国としても、海賊やテロの原因である貧困を削減し、ソマリアの経済開発に貢献してまいります。そのためにも、ソマリア国民の付託を受けた新政府設立が必要です。

(ソマリア海賊問題)

ソマリアの海賊は、世界の海運業界にとって大きな脅威であり、明年6月のTICADVにおける主要テーマの一つでもあります。海賊への対処に当たっては、ソマリアにおける政治、経済、社会の安定など、根本的な問題への対応を含む包括的な取組が必要です。

これまで我が国は、アデン湾での海上自衛隊による商船への護衛活動に加えて、ソマリア及び周辺国の海上保安能力及び法執行能力の強化を支援してきました。本年末には、我が国の資金提供によりジブチに建設中のIMO地域訓練センターが完成します。このセンターで訓練を受けたソマリア及び周辺国の海上保安官が、地域の安定に貢献することを期待しています。

我が国としては、日本の関水事務局長の下で海賊対策を実施するIMOや、他ドナーなどと緊密に連絡をとりながら、TICADVに向け、ソマリア周辺国の海上保安能力を強化するための二国間支援を推進してまいります。

(結語)

今、ソマリアは重要な岐路に立っています。アフリカの多くの国が実現した安定と発展をソマリアも実現し、ソマリア国民が平和な暮らしを享受できるよう、ソマリアの全ての当事者が、ロードマップに沿う形で憲法制定や政治改革を行うことを強く期待します。我が国は、国際社会と連携しつつ、新生ソマリア政府との協力関係を強化し、このような努力を支援していく決意です。

ありがとうございました。

(了)